

# 私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.110

## 環状列石の過去と未来

約4千年前、縄文人が伊勢堂岱遺跡にある環状列石を初めて作りました。それから、約30年前にそれを現代人が再発見し、保存活動を始めました。そして、4年前のユネスコ世界文化遺産の登録を経て、現在に至ります。今回のテーマは、その環状列石にしました。

2か月ほど前、筑波大学および弘前大学の学生たちなどが調査を実施していて、その作業の様子を私が見学できました。仕事などで伊勢堂岱遺跡まで何度も足を運んでいます。環状列石の真ん中に人がいる風景を初めて見たかもしれません。環状列石にある石を一個一個、まんべんなく写真を撮って、今までの調査で撮った写真データと比べて変化を計っていただい

るようでした。石の劣化を進めさせないための大事な参考資料になるでしょう。

一つ一つの石が小さいですが、このように保存していくことにより、大昔の文明を、我々が引き継いで、未来のために残していけますね。私自身は、石の保存方法は詳しくありませんが、未来に残すために縄文文化を英語で広めていけるように頑張っています。

# 市長ダイアリー

◇ 10月16日 ~ 11月15日

18日(土) ▽産業祭開会セレモニー(鷹巣体育館)

19日(日) ▽こども・子育て講演会(コムコム) ▽産業祭 農産物表彰式(鷹巣体育館)

21日(火) ▽第3次総合計画 審議会からの答申(本庁舎)

22日(水) ▽県議との意見交換会(本庁舎)

23日(木) ▽秋田県信用組合新本店・本部竣工記念祝賀会(秋田市)

24日(金) ▽県庁北秋田市・郡ふるさと会(秋田市)

26日(日) ▽北秋田市芸術文化功労賞・奨励賞授与式(文化会館)

28日(火) ▽園遊会(東京都)

30日(木) ▽総合教育会議(コムコム)

31日(金) ▽定例部長会議(本庁舎) ▽定例記者会見(本庁舎) ▽秋田県救急セミナー(文化会館) ▽北秋田市花だんコンクール表彰式(コムコム)

2日(日) ▽第38回東京鷹巣会(東京都)

3日(月) ▽北秋田市スポーツ協会創立20周年記念式典(文化会館)

4日(火) ▽大館能代空港ターミナルビル樹取締役会(同ビル) ▽県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会要望活動(北秋田地域振興局・山本地域振興局)

6日(木) ▽日治道秋田県北部地域秋期合同要望(東京都)

7日(金) ▽農政意見交換会(本庁舎)

9日(日) ▽第39回森吉会総会(東京都)

11日(火) ▽治水事業促進全国大会(東京都)

12日(水) ▽秋田県選出等国会議員と秋田県市長会との懇談会(東京都)

13日(木) ▽北秋田市議会第2回臨時会(議事堂) ▽第3回北秋田市議会全員協議会(本庁舎)

14日(金) ▽第21回北秋田市社会福祉大会(文化会館) ▽秋田県市長会表彰盾伝達式(本庁舎)

国立・国定公園の新規指定・大規模拡張候補地

# 調査結果報告会

北秋田市

環境省 丸山課長補佐による報告

森吉山独自の景観資源 国定公園の資質を有する

北秋田市と環境省東北地方環境事務所が共催する「国立・国定公園の新規指定・大規模拡張候補地の調査結果報告会」が10月10日に阿仁公民館で、翌11日には交流センターで開催されました。

2日間でおおよそ1000人の地域住民が参加するなか、同事務所の丸山課長補佐が森吉山を含む八幡平周辺で2か年にわたって実施した調査結果の概要を説明しました。

そのなかで隣接する十和田八幡平国立公園との類似点については山頂部にとどまるとしたうえで、奥森吉や奥阿仁の源流部には「U字型の深谷など国内に例のない独特の景観が見られるとして「森吉山周辺地域には国定公園への新規指定に十分な資質がある」と報告しました。

参加者からの「国立公園に編入する考えはあるのか」との質問について、深谷やマタギ文化などの八幡平にはない森吉山の独特の魅力を生かした発信には、別のテーマ性を持つ新たな公園指定が有効だと考えていると説明がありました。

環境省では、今回の調査結果を踏まえ、森吉山については「新たな国定公園の指定」が妥当だとの見解を示しており、今後は秋田県や北秋田市と連携しながら2030年を目処に国定公園の新規指定に向けた取り組みを進めていきたいとしています。

環境省の配布資料はこちら

森吉山とともに生きる この地域の未来を見据え

問 観光課森吉山推進室 ☎84-8105

# 防災かわら版

第35回 冬の災害に備えて【低体温症に注意！】

問 総務課危機管理係 ☎62-6602

寒冷期の災害・停電で暖房器具などが使用できなくなると、低体温症により、生命に危険がおよぶことがあります。令和6年1月1日には、能登半島地震が発生しました。「災害は、時と場所を選びません」。いざという時、冬の災害に備えた対策をお願いします。

◆低体温症とは…

寒さにさらされることにより、体の中心の温度が**35度未満**に下がる疾患です。低体温症にかかると、体が震え歯がカチカチと鳴ります。さらに体温が低下すると意識の混濁や判断力低下が現れ、やがてこん睡状態に陥り、心拍や呼吸が遅く弱くなります。高齢者や子ども・乳幼児が発症しやすく、**外気温が15度程度あっても注意が必要です**。

軽度のうちは自力での回復もできますが、重度の場合や自律神経の動きが損なわれている場合、最終的には心臓が止まり、死に至ることもあります。

◆初期段階の応急処置

- ①できる限り、雨・雪・風や冷たい床などを避け、暖かい場所へ移動させる。
- ②衣服が濡れている場合は乾いた衣類に着替えさせ、毛布やブランケットで体を包み、重ね着をして、体を保温するようにする。
- ③安静にして、人肌程度のお湯を入れた湯たんぽなどで、直接体の中心を温める。胸部、腹部全体（おなかに抱える）、頸動脈（首の両脇）、腋動脈（脇の下）、大腿動脈（股の付け根）など、太い血管が通っている所を温めることが効果的です。

※1 42度以上のものが体の同じ所に長く接触すると低温やけどの危険があります。熱源を厚手のタオルなどで包み、ときどき当てる場所を変えましょう。

※2 あわてて手足を温めると、冷たい血液が心臓に流入しショック状態になることがありますので、体の中心部分の方からゆっくり温めることが重要です。

④カロリーのある、温かい食べ物、飲み物を取る。（カフェインを含むお茶やコーヒー、アルコール飲料は避けましょう）

●体の震えが止まって、呼びかけに反応しない、呼吸が弱い、脈が弱いなどの場合は**重度の低体温症の可能性**があります。直ちに119番通報で救急車を要請してください。